オプトアウト用情報公開文書1 (単施設研究)

1. 研究課題名	肝硬変患者における亜鉛クリアランスの定量評価と臨床的意義の検討
2. 研究の対象	2021 年 4 月~2025 年 6 月に当院で肝硬変の診療を受けられた方
3. 研究目的·方法	【目的】
	肝硬変患者では血清亜鉛の低下がよく見られ、潜在性肝性脳症などの
	病態と関連するとされています。血清亜鉛濃度はこれまで血清濃度単
	独で評価されてきましたが。本研究では、血清亜鉛、尿中亜鉛、血清・
	尿中クレアチニンをもとに算出する「亜鉛クリアランス」に着目し、肝
	機能、腎機能、栄養状態、アンモニア代謝指標との関連を評価すること
	で、より実態に即した機能的な評価を目指します。
	【方法】
	▶ググダ 本研究では、肝硬変の診療を受けられた患者さんのうち、血液・尿検査
	の結果を用いて、腎機能や亜鉛代謝との関連を評価します。
	の相次と用いて、自成化で亜鉛で刷との例とと目面します。
	【期間】施設承認~2030年 3月 31日(□延長の可能性あり)
 4.研究に用いる試料・	通常肝疾患で測定する採血・尿検査項目(血清亜鉛、血清クレアチニ
情報の種類	ン、アルブミン、BTR、アンモニア、肝機能(AST, ALT, ALP, T-Bil,
日子はマンリ主人会	ChE), Plt, 尿中亜鉛、尿中クレアチニン)
	通常肝疾患の診療で施行する腹部超音波(肝硬度(SWE)、肝脂肪量
	(ATI))、腹部CT、腹部MRI検査
	通常肝疾患の診療で施行する神経精神テスト 等 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わ
O. 851410 A77 E76	せ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産
	の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧するこ
	とが出来ますのでお申出下さい。
	また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんも
	しくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象
	としませんので 2030 年 3 月 31 日までに下記の連絡先までお申出くだ
	さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。
	とい。との場合との心音とかに下列曲が上しることはのうなどが。
	照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:
	市立貝塚病院 消化器内科・ 垣田成庸
	〒597-0015 大阪府貝塚市堀 3 丁目 10 番 20 号
	TEL:072-422-5865 FAX:072-439-6061
	研究責任者:消化器内科 • 垣田成庸